

消防局予算の概要

1 予算編成に当たっての考え方

市民の生命・財産を守るという消防の使命を達成し、災害に強く安心して住み続けられる「安心都市・京都」を実現するため、コロナ禍においても、あらゆる災害に的確に対応する消防体制の確保や火災予防の推進はもとより、消防団や自主防災組織をはじめとした地域防災力の充実・強化を図ることを重点に予算編成を行った。

また、将来にわたって持続可能な体制を確保するため、行財政改革を確実に実行するとともに、消防の連携・協力の推進やデジタル技術の有効活用など、市民サービスの維持・向上と効率的かつ効果的な行政の実現に向け、着実に事業を推進する。

主要な施策として、消防対策については、消防力の確保・充実に向けて、消防自動車の整備や救急安心センター事業の効果的な運用などに取り組むほか、消防指令センターの共同運用に向けた基本調査に着手する。

予防対策については、火災から命を守る避難指針の周知・啓発に努めるなど、地域・事業所等と連携した出火・焼死者防止対策に取り組む。

消防団対策については、地域防災力の中核である消防団が将来にわたって継承されるよう、消防団施設への補助制度の拡充や、報酬をはじめとした消防団員の処遇改善を図るとともに、引き続き学生をはじめとする若年層や女性への入団促進に取り組む。

地域防災対策については、多様化する自然災害への対応をはじめ、少子・高齢化や新型コロナウイルス感染症などの社会環境の変化に適切に対応するため、自主防災組織の活動や相互連携を支援するなど、地域防災力の充実・強化を推進する。

2 主な新規・充実事業

消防指令センター共同運用に向けた基本調査

13,502 千円

項 目	主 要 施 策 の 概 要	本年度予算額	前年度予算額
		千円	千円
	消防団運営 京都市消防団協会交付金	42,000	42,000
	消防団施設補助	37,000	25,000
	消防団活動機材等整備	38,500	29,869
3 地域防災力の向上		148,660	148,660
地 域 防 災 対 策	自主防災組織の災害対応力の充実 自主防災組織活動助成金 北部等山間地域自主防災組織消火活動器材整備助成金 など	16,100	16,100
	市民防災センター管理運営	132,560	132,560
4 消防管理運営		16,858,687	17,214,541
人 事 管 理	職員給与	16,089,000	16,553,000
	職員の安全衛生管理, 給貸与品など	159,000	165,400
庁 舎 管 理	庁舎管理 庁舎維持補修 など	610,687	496,141

(消防局-2)

